【資料３】

データ分析に基づく在宅診療の状況について

～在宅診療の解析レポートより～

（京都大学作成、鳥取市保健所加工）

【解析内容】

患者居住地別と訪問診療・訪問看護の実施機関住所の解析

【データ】

2017 年度・2018 年度、国保・後期高齢（訪問看護データを含む）・介護レセプト

※データ中の人月とは、１人１か月でまとめて集計。１か月に２回治療しても１人月。

（１月と２月に治療した場合２人月）

【解析定義】

１　訪問診療実施人数

下記のいずれかが１回でも算定されている人数（人月）

・訪問診療
・在医総（在宅時医学総合管理料の略）
・在がん医（在宅がん医療総合診療料の略）
・退院時共同指導（在宅医療機関）
・退院時共同指導（病院）
・訪問看護指示

２　訪問看護実施人数

医科レセプト（国保・後期高齢）、訪問看護レセプト（国保・後期高齢）、介護レセプトより、訪問看護の実施されている人数（人月）

＜医科レセプト＞

・Ｃ００５ 在宅患者訪問看護・指導料
・Ｃ００５－１－２ 同一建物居住者訪問看護・指導料
・Ｉ０１１医療観察精神科訪問看護・指導料
・Ｉ０１２精神科訪問看護・指導料

＜訪問看護レセプト＞

・実施の有無

＜介護レセプト＞

・サービス種類コード　１３（訪問看護）の内該当項目

※訪問看護レセプトと介護レセプトは結合させ、医療保険・介護保険の請求を併せて解析

３　訪問診療、訪問看護共通定義

「要介護度」：年度内のデータに含まれる要介護度の内、最も要介護度の高いものを採用

「疾病の有無」：年度内外来レセプトより検索

【考察】～京大レポート原文に下線等追加～

レセプトを用いる在宅医療・介護の分析として、特に訪問看護を考える場合、診療所等による医科での訪問看護、訪問看護ステーションによる医科での訪問看護、介護事業所としての介護レセプトによる訪問看護が存在し、それらを併せて解析している。

また、本解析研究業務において取得できているデータは、医療レセプトと介護レセプトが結合可能であり、このことを利用し、要介護度および治療疾病状況を、医療・介護双方に結合した解析が可能であった。

概観として、訪問看護および訪問診療ともに、2017年度、2018年度の比較では大きな変化はないと考えられる。例えば訪問看護では、実施機関が減っているが、実施数（人月）は増えている。各地域、各機関の詳細は、データでご確認いただけるため、どの機関が利用されているのかも具体的に見ることが可能である。

要介護度の分布については、地域ごとに見るとほぼ同じような分布であった。しかし、これを機関ごとに見てみると、違いがみられる。また疾患の状況についても同様で、地域ごとではそれほど差がないが、機関毎では異なる。これらにより、機関を具体的に見ていくとその特徴を踏まえた利用実態の把握に役立てられる。

訪問看護・訪問診療ともに、地域内での完結率の高い地域と、そうではない地域がみられる。ただし、この分析は市町村内毎を地域単位としているため、実情として例えば郡内で見たほうがよいなどもありえる。詳細のデータは、それぞれの地域の方が、どこの地域の機関を利用しているのかがわかるため、必要に応じて地域毎に焦点を当てて、具体的に検討することが可能になる。

【参考】（出典：鳥取県保健医療計画他）

（1）人口（平成29年）　単位：人（%）

区分	人口	老年人口	生産年齢人口	年少人口
東部圏域	229,320	66,784(29.4)	131,498(57.8)	29,118(12.8)
鳥取県	565,233	177,925(31.5)	315,542(55.8)	71,766(12.7)

※構成比算出の分母は年齢不詳を含まない

（3）在宅診療体制（平成29年）　単位：箇所

区分	診療所数	在宅療養支援診療所	歯科診療所	薬局	訪問看護ステーション
東部圏域	192	25	112	99	21
鳥取県	508	77	259	276	66

※訪問看護ステーションの東部圏域はサテライトを含み休止中を除く

（3）鳥取県保険者別被保険者数（H29.10.1現在）　単位：人

区分	国保	後期高齢	協会けんぽ	健保組合	地方職員	公立学校	警察共済	市町村共済
被保険者数	126,245	91,171	204,637	4,432	8,755	11,682	3,326	14,201
割合（%）	27.2	19.6	44.1	1.0	1.9	2.5	0.7	3.0

国保＋後期高齢46.8%　　共済組合8.2%

（4）東部市町別被保険者数（H30年度国保及び後期高齢）

区分	鳥取市	岩美町	若桜町	智頭町	八頭町
国保被保険者数（人）	36,602	3,007	764	1,745	3,993
加入割合（%）	20.1	26.2	23.4	24.4	23.5
平均年齢（歳）	54.6	55.7	58.9	56.0	54.9
後期高齢被保険者数（人）	27,290	2,196	907	1,667	3,146

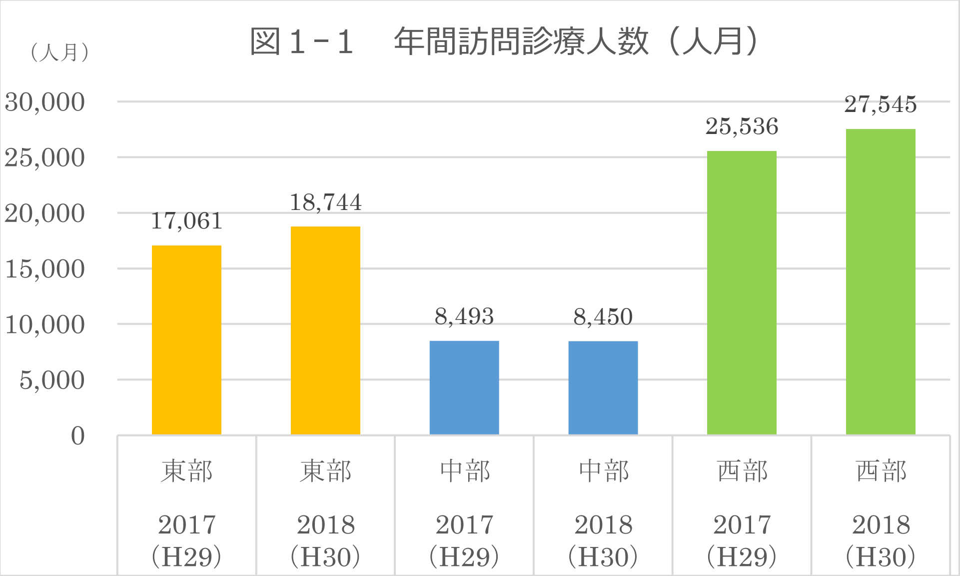
※出典：平成30年度鳥取県の国保

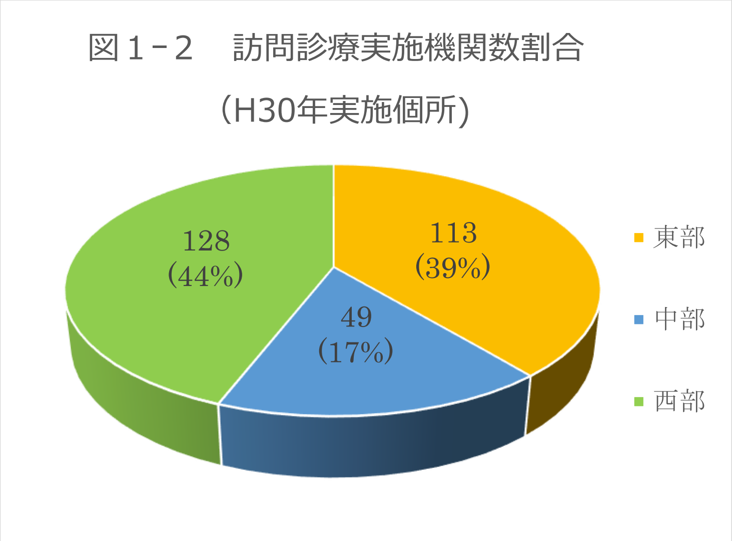
1　訪問診療実施機関と実施状況（県内の実施機関のみ）

（表１）二次医療圏別訪問診療実施機関及び実施状況

年度	二次医療圏	施設数（箇所）	年間訪問診療人数（人）	年間訪問診療人数（人月）
2017(H29)	東部	109	3,072	17,061
2018(H30)	東部	113	3,218	18,744
2017(H29)	中部	53	1,432	8,493
2018(H30)	中部	49	1,406	8,450
2017(H29)	西部	123	3,830	25,536
2018(H30)	西部	128	4,170	27,545

・訪問診療の実施施設は、中部で減少しているが、東部・西部では増加している。
・東部、西部では、平成 29 年と比較し平成 30 年は訪問診療人数が増加している。
・東部では、西部と比較し訪問診療実施施設数、訪問診療人数ともに少ない。





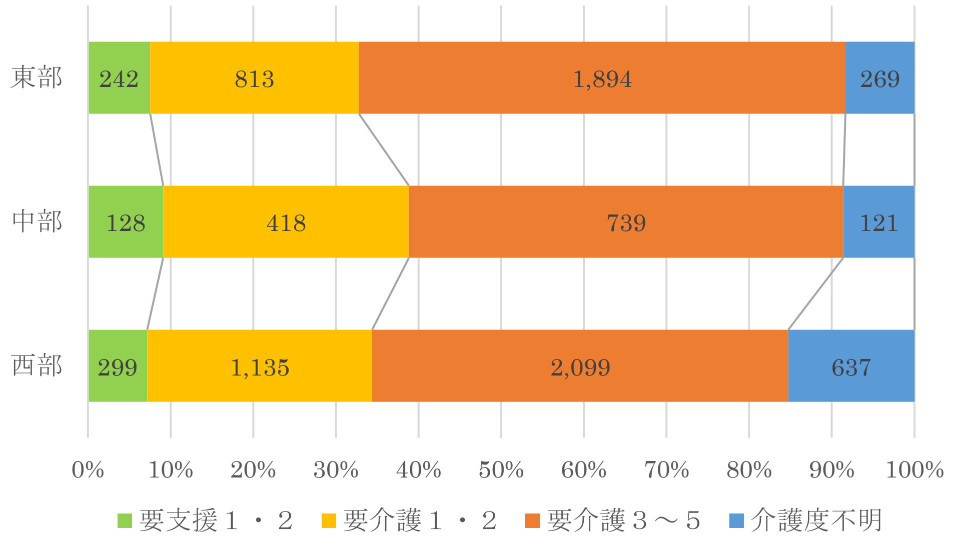
（表２）訪問診療実施患者の要介護度内訳（県内機関のみ）（上段：人数、下段：割合）

年度	二次医療圏	計	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	介護度不明※
2017（H29）	東部	3,072 (100)	50 (1.6)	183 (6.0)	228 (7.4)	595 (19.4)	539 (17.5)	657 (21.4)	596 (19.4)	224 (7.3)
2018（H30）	東部	3,218 (100)	54 (1.7)	188 (5.8)	236 (7.3)	577 (17.9)	576 (17.9)	668 (20.8)	650 (20.2)	269 (8.4)
2017（H29）	中部	1,432 (100)	38 (2.7)	83 (5.8)	216 (15.1)	235 (16.4)	247 (17.2)	287 (20.0)	238 (16.6)	88 (6.1)
2018（H30）	中部	1,406 (100)	36 (2.6)	92 (6.5)	172 (12.2)	246 (17.5	235 (16.7)	271 (19.3)	233 (16.6)	121 (8.6)
2017（H29）	西部	3,830 (100)	67 (1.7)	182 (4.8)	418 (10.9)	631 (16.5)	551 (14.4)	706 (18.4)	706 (18.4)	569 (14.9)
2018（H30）	西部	4,170 (100)	85 (2.0)	214 (5.1)	468 (11.2)	667 (16.0)	655 (15.7)	720 (17.3)	724 (17.4)	637 (15.3)

※医療保険のみが利用されている場合、介護レセプトデータが発生せず、要介護度は不明となる。

・要介護度内訳の割合を比較すると、二次医療圏別に若干の違いが見られるが、どの圏域でも要介護３～５が全体の約半数を占める。

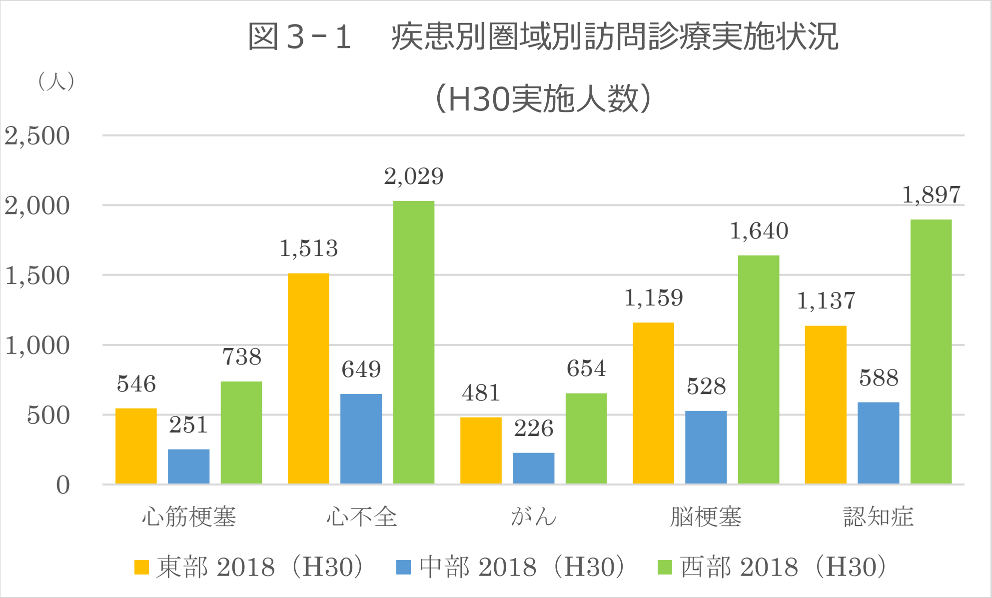
図２　訪問診療実施患者の要介護度内訳の割合
（H30訪問診療実施患者）

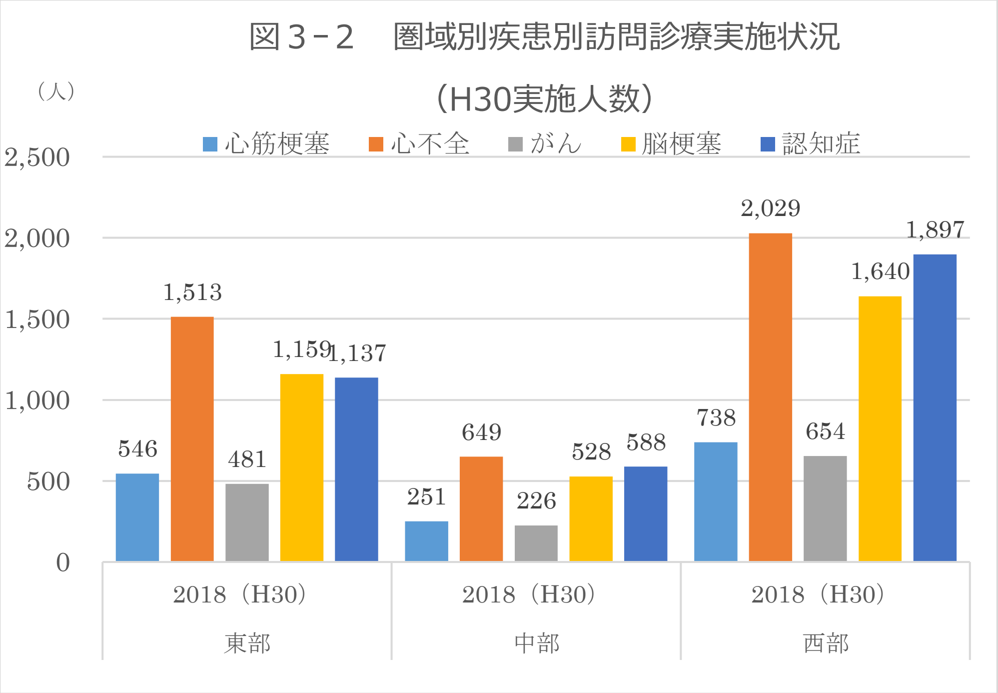


（表３）訪問診療実施患者の疾患の内訳（県内機関のみ）　（人数）

二次医療圏	年度	心筋梗塞	心不全	がん	脳梗塞	認知症
東部	2017(H29)	500	1,389	463	1,108	1,015
	2018(H30)	546	1,513	481	1,159	1,137
中部	2017(H29)	255	650	210	573	585
	2018(H30)	251	649	226	528	588
西部	2017(H29)	671	1,849	582	1,534	1,661
	2018(H30)	738	2,029	654	1,640	1,897

※疾患は、外来レセプトを用いて心筋梗塞・心不全・癌・脳梗塞・認知症のみを検索
※疾患それぞれの集計で、複数の疾患を持つ症例は重複（合計は 100％を超える）
・東部、西部では、平成 29 年と比較し平成 30 年は５疾患全てで訪問診療人数が増加している。
・全ての圏域で心不全の訪問診療実施人数が最も多く、圏域別の実施傾向はほぼ同様である。



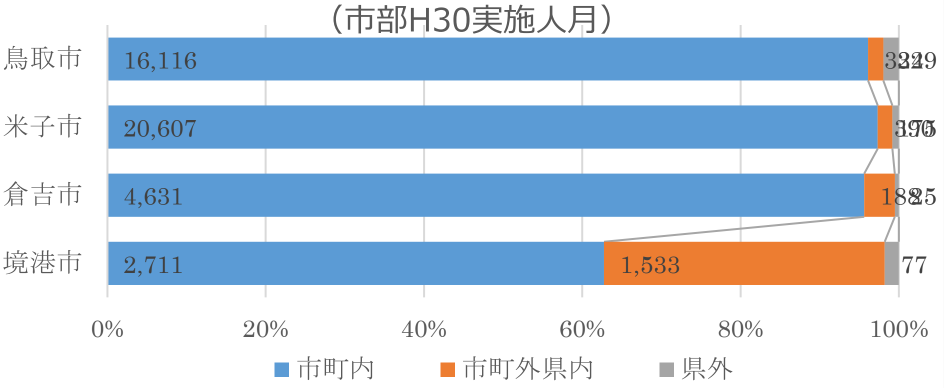


（表４）訪問診療における患者居住地と診療医療機関の所在地　（人月）

年度	患者居住地市町名	市町内	市町外県内	県外					人月合計
				兵庫県	島根県	岡山県	広島県	他県外	
2017（H29）	鳥取市	15,255	277	28	13	28	36	207	15,844
	米子市	18,999	469	1	55	2	1	95	19,622
	倉吉市	4,489	173	3	0	12	0	20	4,697
	境港市	2,795	1,346	0	73	0	0	12	4,226
	岩美町	768	614	22	0	0	0	13	1,417
	若桜町	457	129	3	0	0	0	0	589
	智頭町	909	91	1	0	6	0	10	1,017
	八頭町	1,253	581	17	0	0	0	11	1,862
2018（H30）	鳥取市	16,116	324	37	18	29	32	213	16,825
	米子市	20,607	390	4	58	6	1	106	21,173
	倉吉市	4,631	188	1	0	12	0	12	4,844
	境港市	2,711	1,533	0	60	0	0	17	4,321
	岩美町	819	881	19	0	0	0	12	1,731
	若桜町	492	173	4	0	0	0	0	669
	智頭町	837	137	0	0	2	0	0	976
	八頭町	1,339	656	16	0	2	0	13	2,026

図４－１　患者居住地別訪問診療医療機関所在地

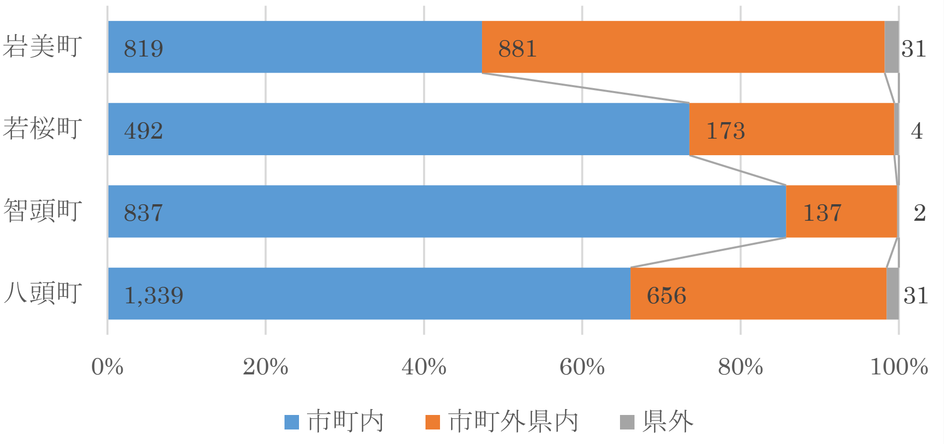
（市部H30実施人月）



・市域では境港市を除いて 90%以上が患者居住地市内の医療機関が実施する訪問診療で完結している。

図４-２　患者居住地別訪問診療医療機関所在地

（東部４町H30実施人月）



・東部４町では患者居住地町内の医療機関が実施する訪問診療の完結率は 47.3%～85.8%までばらつきがある。

2　訪問看護実施機関と実施状況（県内の実施機関のみ）

（表１）二次医療圏別訪問看護実施機関及び実施状況

年度	二次医療圏	施設数（箇所）	年間訪問看護人数（人）	年間訪問看護人数（人月※）
2017(H29)	東部	77	3,584	28,308
2018(H30)	東部	76	3,802	30,134
2017(H29)	中部	26	1,772	13,579
2018(H30)	中部	23	1,723	13,503
2017(H29)	西部	93	4,548	35,009
2018(H30)	西部	92	4,832	36,961

・訪問看護の実施施設数は、全地域で減少している。
・東部、西部では、平成 29 年と比較し平成 30 年は訪問看護人数が増加している。
・東部では、西部圏域と比較し訪問看護実施施設数、訪問看護人数ともに少ない。

図１－１　年間訪問看護人数（人月）

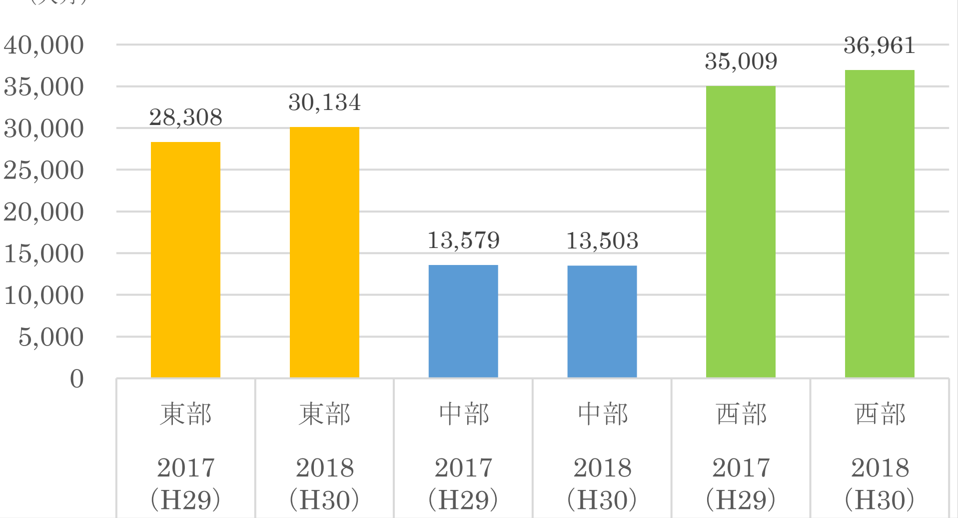
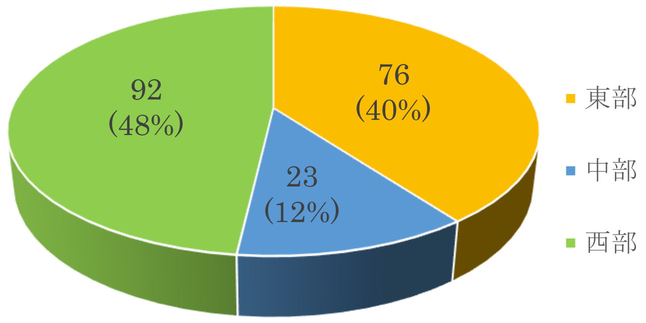


図１－２ 訪問看護実施機関数割合
（H30年実施個所）



（表２）訪問看護実施患者の要介護度内訳（県内機関のみ）　（上段：人数、下段：全割合）

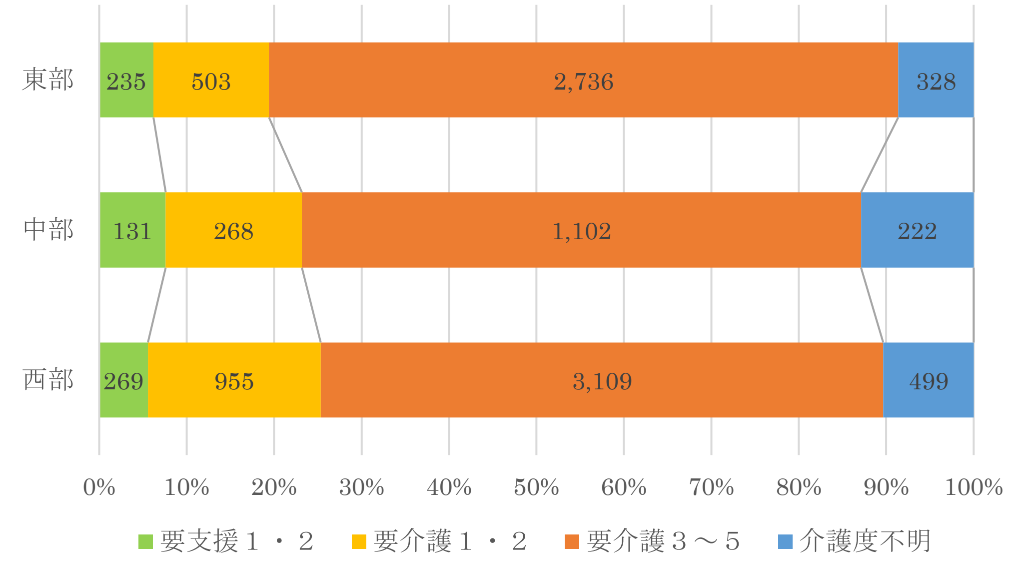
年度	二次医療圏	計	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	介護度不明※
2017（H29）	東部	3,584 (100)	36 (1.0)	166 (4.6)	107 (3.0)	370 (10.3)	557 (15.5)	950 (26.5)	1,106 (30.9)	292 (8.1)
2018（H30）	東部	3,802 (100)	48 (1.3)	187 (4.9)	132 (3.5)	371 (9.8)	591 (15.5)	977 (25.7)	1168 (30.7)	328 (8.6)
2017（H29）	中部	1,772 (100)	44 (2.5)	87 (4.9)	150 (8.5)	157 (8.9)	235 (13.3)	440 (24.8)	460 (26.0)	199 (11.2)
2018（H30）	中部	1,723 (100)	42 (2.4)	89 (5.2)	118 (6.8)	150 (8.7)	231 (13.4)	429 (24.9)	442 (25.7)	222 (12.9)
2017（H29）	西部	4,548 (100)	74 (1.6)	173 (3.8)	362 (8.0)	524 (11.5)	560 (12.3)	1,030 (22.6)	1,391 (30.6)	434 (9.5)
2018（H30）	西部	4,832 (100)	83 (1.7)	186 (3.8)	399 (8.3)	556 (11.5)	659 (13.6)	1,074 (22.2)	1,376 (28.5)	499 (10.3)

※医療保険のみが利用されている場合、介護レセプトデータが発生せず、要介護度は不明となる。

・要介護度内訳の割合を比較すると、二次医療圏別に若干の違いが見られるが、どの圏域でも要介護３～５が全体の６割以上を占める。
・訪問看護実施患者の要介護度内訳を訪問診療実施患者と比較すると、訪問看護実施患者に占める要介護３～５の割合が１割程度高い。

図２　訪問看護診療実施患者の要介護度内訳の割合

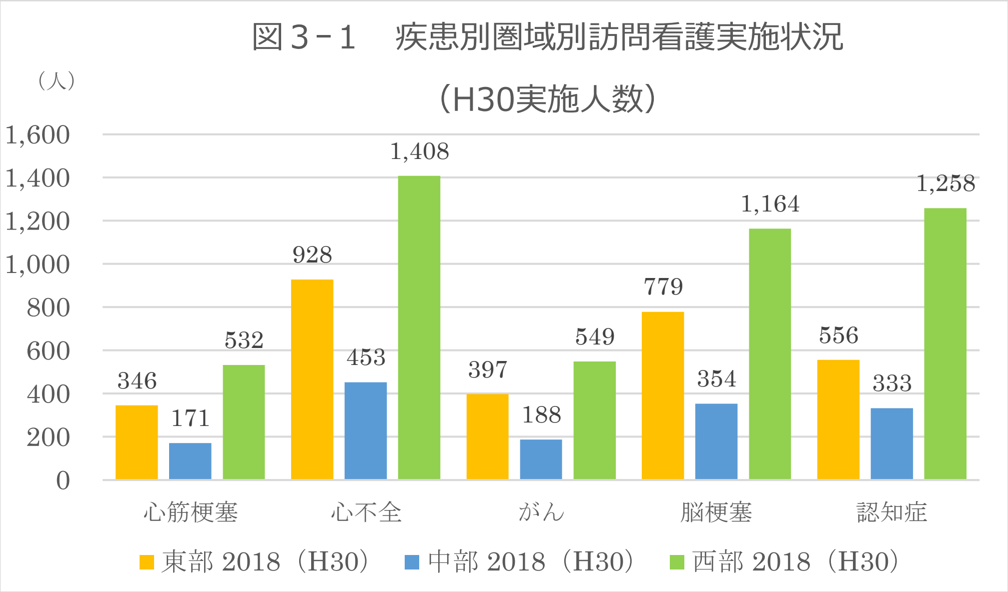
（H30訪問診療実施患者）

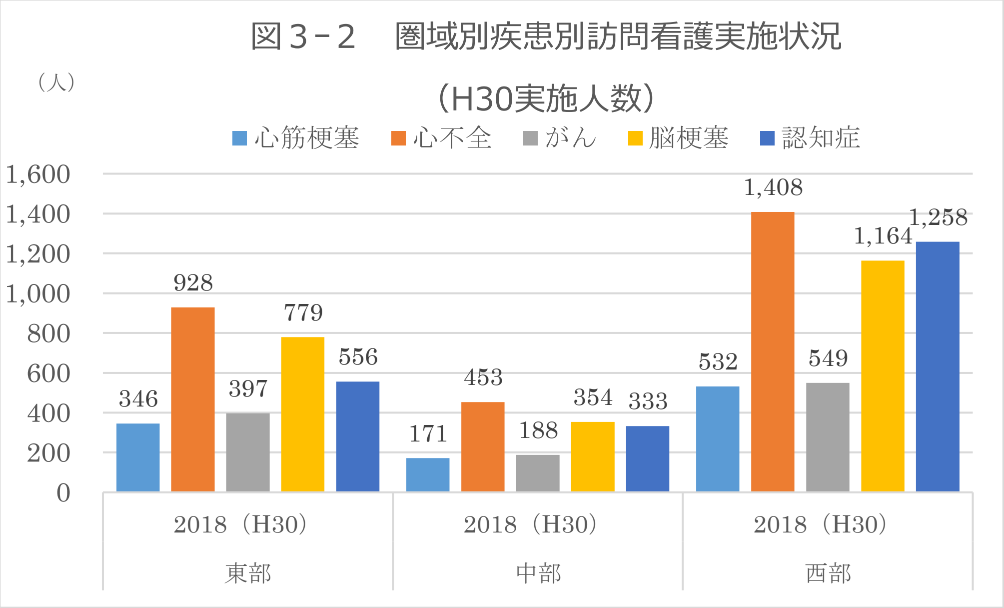


（表３）訪問看護実施患者の疾患の内訳（県内の機関のみ）　（人数）

二次医療圏	年度	心筋梗塞	心不全	がん	脳梗塞	認知症
東部	2017（H29）	312	805	388	680	465
	2018（H30）	346	928	397	779	556
中部	2017（H29）	174	464	179	377	340
	2018（H30）	171	453	188	354	333
西部	2017（H29）	464	1,264	511	1,064	1,070
	2018（H30）	532	1,408	549	1,164	1,258

※疾患は、外来レセプトを用いて心筋梗塞・心不全・癌・脳梗塞・認知症のみを検索
※疾患それぞれの集計で、複数の疾患を持つ症例は重複（合計は 100%を超える）
・東部、西部では、平成 29 年と比較し平成 30 年は５疾患全てで訪問看護人数が増加している。
・全ての圏域で心不全の訪問看護実施人数が最も多く、西部では認知症の訪問看護が他の圏域より多い傾向である。





（表４）訪問看護における患者居住地と訪問看護実施機関の所在地 （人月）

年度	患者居住地市町名	市町内	市町外県内	県外					人月合計
				兵庫県	島根県	岡山県	広島県	他県外	
2017（H29）	鳥取市	20,254	660	12	12	12	13	133	21,096
	米子市	19,144	1,514	0	106	21	3	71	20,859
	倉吉市	5,426	590	2	0	0	1	13	6,032
	境港市	4,158	1,246	0	162	0	2	0	5,568
	岩美町	1,468	541	0	0	0	0	5	2,014
	若桜町	513	451	0	0	0	0	0	964
	智頭町	1,566	359	0	0	0	0	0	1,925
	八頭町	589	2,079	0	0	0	0	10	2,678
2018（H30）	鳥取市	21,795	689	13	12	2	12	94	22,619
	米子市	20,878	1,403	4	111	24	1	63	22,484
	倉吉市	5,115	645	0	0	0	12	12	5,784
	境港市	4,048	1,378	0	129	0	0	0	5,555
	岩美町	1,423	596	0	0	0	0	0	2,019
	若桜町	502	766	0	0	0	0	0	1,268
	智頭町	1,621	266	4	0	0	0	0	1,891
	八頭町	565	2,044	0	0	0	9	15	2,633

図４－１　患者居住地別訪問看護機関所在地

（市部H30実施人月）

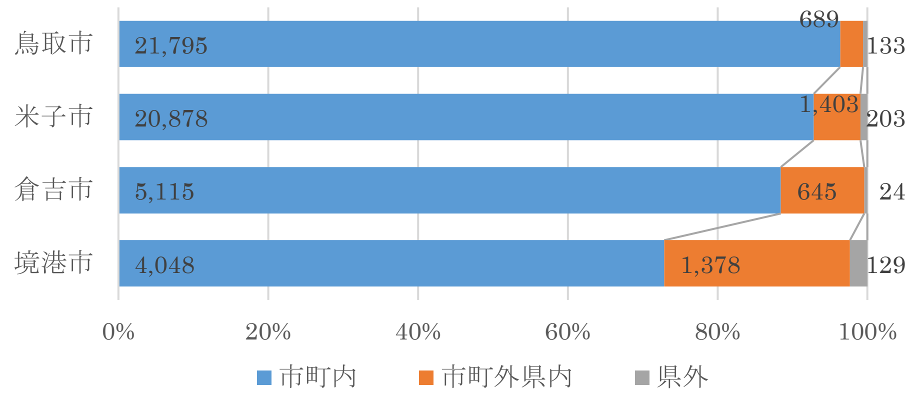
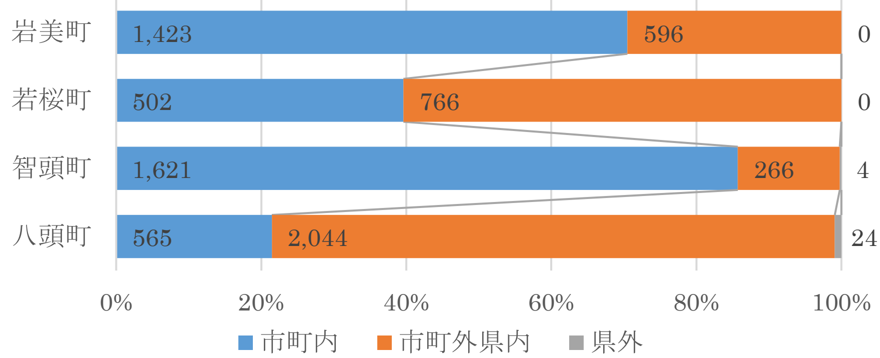


図４－２　患者居住地別訪問看護機関所在地

（東部４町H30実施人月）



- 市域では鳥取市の患者居住地市内の機関が実施する訪問看護で完結している割合が高い。
- 訪問診療は米子市の実施人月が多かったが、訪問看護では鳥取市の実施人月が最も多い。
- 東部４町では患者居住地町内の機関が実施する訪問看護の完結率は21.5%～85.7%までばらつきがある。
- 訪問診療、訪問看護共に智頭町の町内完結率が最も高く、若桜町、八頭町の完結率は４割以下である。